

東北日日新聞

本報創刊三十周年紀念
発行所 仙台市大町二丁目
電話 二二二二
印刷所 仙台市大町二丁目
電話 二二二二

組合の決議で 紙製の湯札を發行

従來のは衛生上良くない 昨日湯屋總會を開き

平署では先きに市内の浴場、回紙製の湯札を發行する事に對して入浴料の引下げを以て來る一日より實行す交渉してゐたが二十九日午の事となつた

商大教授の 經濟講演

來る三日南町で
八月三日午後七時より平町
南町日本クリスト教習室に
於て十二會主催のもとに東
京商科大学教授大倉金之助
氏の經濟問題の講演ある筈
でこれを徹夜し新しく今

出水の三井炭礦 休山を發表

従業員を集め諒解を求む 平署では萬一を警戒

石城郡警備村三井炭礦 出水直後本社から來山した
坑内出水は同坑の休山を伴つて取除後三十日午
招來せしむる結果となつた前八時から社員八十餘名、
礦業所では出水の模様を見下前十時から労働者の重だ
てゐるだけであり排水作業つた者二百名午後一時から
も休山を覺悟してゐる一般従業員一千名に對し不
らしいが休山の結果は一應の災害である坑内出水に
二百名の従業員が全部職を失つて同炭礦の復活し得ざ
るを何時發表するかは各地方官の實況について諒解を求め
面から願ひ注目されてゐる由である、此の了解は同

喧嘩の末

石城郡内郷村字綴木宿館
田とも方止宿高坂坑夫夫大
和田某(四七)と同所大工木
村儀助の兩名は二十七日午
後七時ころ酒の上で喧嘩を
はじめ大和田は鐵棒を持つ
て木村の右腕を殴り全治三
週間の重傷を負はせたので
二十九日平署に引致され取
調中

悲雨惨々こふる中を 去り行く一千二百名

青年團消防組などの 沈痛な解散式を舉行

別項三井炭礦では今三十日
午後一時本社指令により
遂に正式に休山を發表した
が従業員一千二百名の解雇
並にその手當に就ては目下
重役間に於て協議中で發表
されない、それにより同礦
系の青年團、在郷軍人會、
消防組員は直ちに降りそ
ぐ雨の中で沈痛な別れの言
葉に解散式を舉行した

致命的損害

三井礦の廢山によつて直接
甚大なる影響を受けたのは
警備村である従業員全家族
千五百戸が納める税金の負
担その他の經濟的關係は昭
名もなく目下隔離治療中の
同を求め出來上つたのが

非常警報を發す

暴風雨のおそれ有り

二十九日八丈島を通過した
鹿島村聯合道路愛護會であ
るの道路愛護會の事業とし
ては毎月一回村内總動員
の午後二時より三十一日
の午前八時まで暴風雨のお
それがあるので小名濱測候所
では警報を發した

少女の溺死

自宅の小川裏で
石城郡高久村下高久蘆部三
代吉孫ミツエ(一二)は二十
八日は午後三時ころ自宅裏
の小川で水遊び中深みに轉
落遂に溺死した

道路愛護に 全村一致

兒童に勵まされて
道路愛護デー以來各地に道
路の改修工事並に掃除など
が行はれ殊に石城郡鹿島村
小學校長鶴浦氏は村内の縣
道村道凡ての道路面が悪い
ので郡下に先んじ全校兒童
をして路面改修に従事した
ところがこれをみてゐられ
の兆あり治療の經過悪く腸
なくなつたのが同村の村長
さんと助役さん消防組幹部
チブス 三男 延

植田署管内 チブス 三男 延

植田警察署管内の傳染病は
先月下旬よります、蔓延
の兆あり治療の經過悪く腸
なくなつたのが同村の村長
さんと助役さん消防組幹部
チブス 三男 延

松本春秀三男 清

▲平町五丁目一八
引地精一 二男 壽夫
▲平町紺屋町五四
草野金太郎三女 和子



世態 雜相

ある、静かな生活こそ本
の人によさはしいよ。
支那にゆかいなされて太
道曲藝師となつた日本小
年。
漢口から逃れて小田原へ
來たが、救つて下さいと
願ひ出たので助けられ
人生にこんな氣の毒なの
が、幾つあることか。
農村のドン底生活が、
ろくの悲劇を産んで
るが、これは亦、美し
音信である。
神奈川縣高座郡綾瀬村
學校の職員が、賞與、
の他手當等を辞退した
擧がある。
この額一千餘圓也。
大阪平尾養平商店の争
ます、悪化したので
社側では、工場を閉鎖
職工百六十六名に對し
京工場へ轉勤を命じた
で、労働者側ギヤフン
術としては面白いぞ。
都會騒音のために都會
が、いろ／＼の性能、
理、精神上にも異常な
果を與へてゐる。
東京でも、騒音防止の
究に没頭してゐる。
都會にはおそろしい都
人特有の病氣がある。
田園生活の幸福といふ
りも、人間本來の野性
びつたりと來る。
地方人は幸福者である
凡てがね。

坑夫の窃盜

遊興中逮捕さる
石城郡内郷村宮城炭礦高
坂坑後山夫松原喜一郎(三三)
は二十八日午前九時ころ同
炭礦宮ノ澤七年會宿泊所炊
事場から實家の東京府下代
々幡に行くからと稱し二圓
を借り更らに同僚の菅清か
ら白カスリの單物と黒ガス
ヘコ帯一本價格四圓を窃取
し翌日湯本町上町地内の某
飲食店に登樓遊興中を平署
員の手に逮捕された

出 生

▲平町新川町五
玉木兼治郎三男 泰也

平から平へ

北上の航走

(三)

金華山から松島へ
短かい夏の旅

四時の整列とさいてゐる。のど出登する。開の小路から橋を渡つて漁業組合前へと急いだ。内防波堤へのさん橋の前。の廣場が、まつ黒い人の群れで埋つてゐる。消防組員が、さし橋入口にふさがつて、金二十銭下さいと、聲をかざりに叫んでゐる。乗船料、北上までの船賃であるのを現金で受取る。と、一人宛通してやる。四百餘名が、發動汽船の中へ押し込まれる。みる。満船、その中に暗い空がぼつり。降り出した雨が、さあ！音を立てて、降りそぐ。ので、雨具の用意がないので多数つぶぬれとなる。私も頭から降りこめられたを、そばにゐる知らぬ人が、傘の下へ入れ替へてくれる。十分、十五分、二十分、それでも出さずもないので、そろ／＼不平が起つた。「もつとつめてくれ。」のせるだけのせまいと出さないよ。「前へつめて下さい。」消防組員が叫んでゐる。拂脱の空は、しらく／＼と明けはなれて行く、雨も

いつしか晴れる。涼しい風が、海面から吹きあがつてくる。四十分、五十分、我慢できなくなつた三百餘名の乗客が、ぶつ／＼小言を投げ合はつてゐる。「もうだせよ。」「なにをぐつ／＼してゐるんだ。」「片道二十銭もどつてゐるんぢやないか。」「さうせ一回に行けんだからだせ。」「の階級を二つの船にのり込んでゐるのであるからなか／＼鼻息が荒いので、いら／＼した消防組員も負けてはおられず盛んにどなる。「生意氣いふな。」「まかせたらば黙つてゐろ。」「二十銭で高いなら下りろ。」「馬鹿野郎。」「なぐるぞ……。」とら聲、だみ聲が乗船客を、おびやかしてゐる。「おりろとはなんだ」「小濱長太郎横暴だぞさあ大變、があ／＼わあ／＼と、叫ぶ、わめくことになる。消防組員も野獸のやうになつて、ほえる

花嫁御寮

暑中御伺



和洋結髪
御化粧御仕度
御婚禮御仕度

會田タミ
岩崎みつ子
外徒弟一同

最新式高級

セダン型二台購入
自動車通のお客様は
斷然この車をお選び致します
高級車でも破格の料金です
マツザキタクシー
電話番号は……四九四九

耳鼻咽喉科 専門
氣管食道科 専門
平町南町

大和田醫院

入院隨意

電話一七〇番

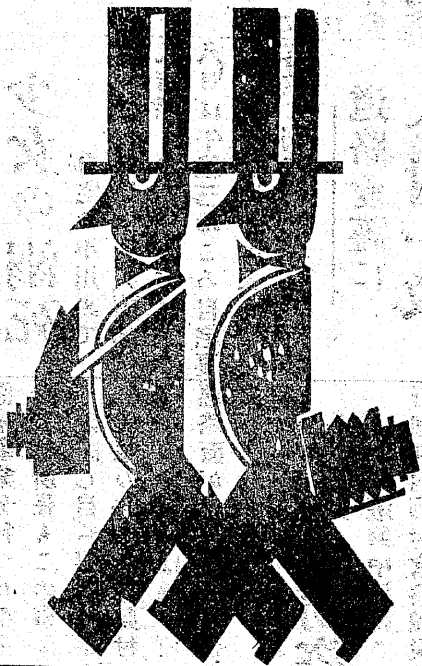
暑い事ねい

あづきアイス水
注文致しましてようね
平町一丁目

藤寅へ

ミルクセイキ 金貳拾錢
アイスクリム 金拾錢
アズキアイス 金五錢
氷水 全いちご 八錢
全れもん 全ぶどう 八錢
全あづき 全しら玉 八錢
全らむね 拾錢 全玉子水 拾五錢

出前は迅速
御注文の電話
一四一番です



御寫眞の御用命は當館
平町仲田町
大野寫眞館

★新發賣品★

治淋 新藥 ラウタール 定價拾圓
幾多の治淋藥中超越として偉効確たるの自信を有するものは本劑あるのみ 是非一回の御試用を乞ふ
平町五丁目

一手販賣店 山野邊藥局

豫告

目に青葉

食通の好季節
樽詰生ビール 近日開設
ソーダフアンテン
尙店舗の内容完備致しました
高級 食道 新郵便局裏
ボタシ

電話八五四番

急告

サイラー 御試用を

製造元 石川郡母畑日本唯一のラヂウム
鑛泉萬病名湯の地
◎本品は内務省衛生試驗分拆証明あるラヂウムイマナオンを含有資料製法の飲料である
◎長くも秩父宮、高松宮兩殿下御買上の光榮品
◎最近薬劑飲用水として盛に米國に輸出して居る
滋養生 確實御試飲下さい
平町田町
一手賣捌所 金子屋酒店
電話一三六

開業披露

口腔外科 齒科一般
齒列矯正
夜間診療致します
日本大學 丹野齒科醫院
齒科醫學士 丹野
平町白銀町
東北日日新聞社前
加藤丈夫事務所跡